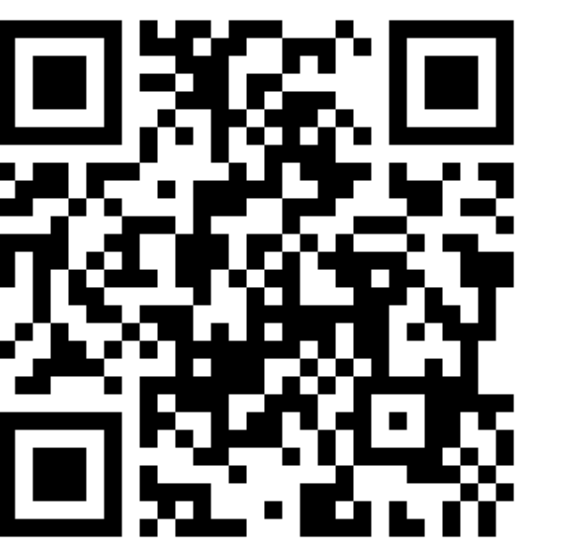
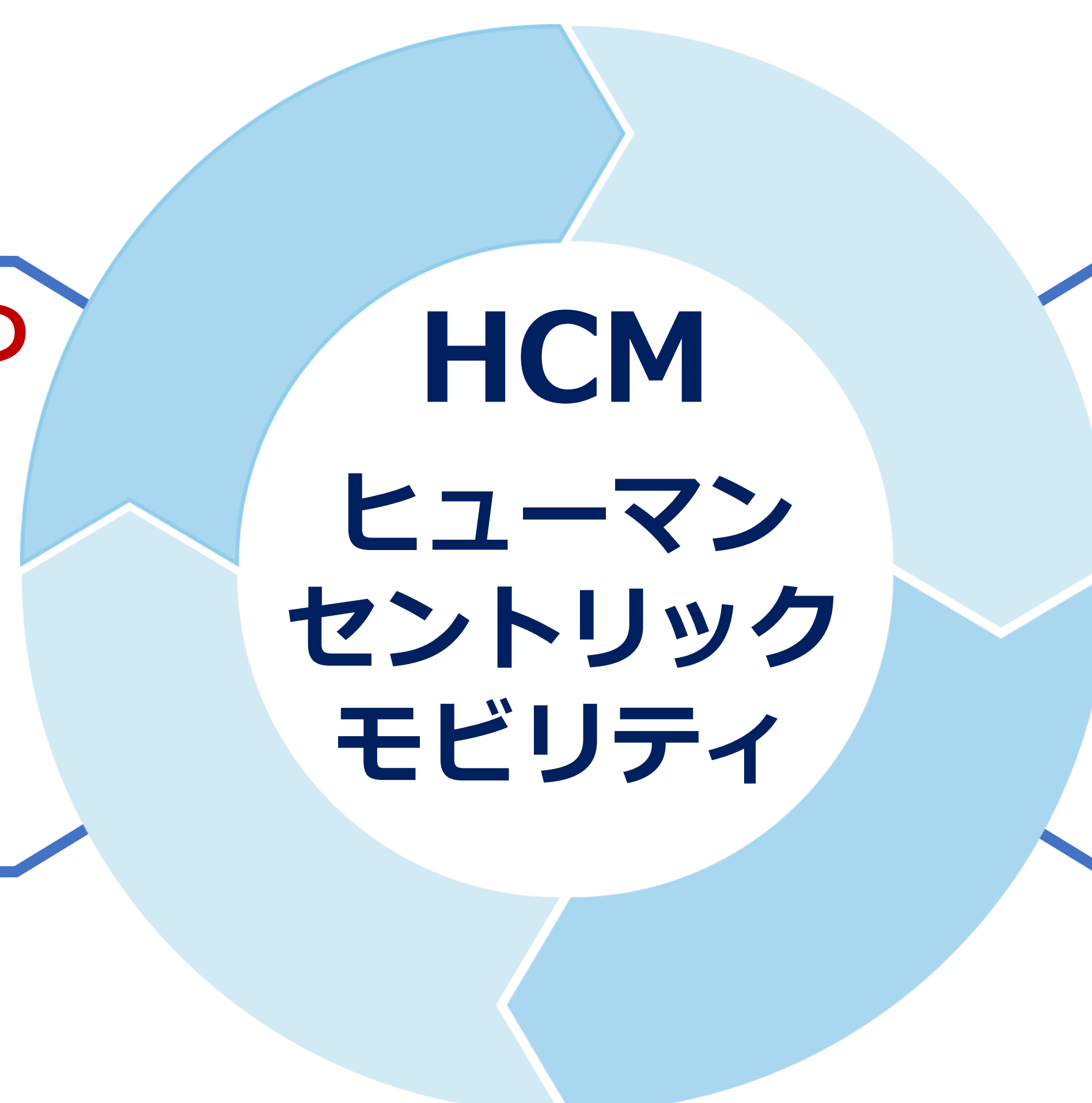


ヒューマンセントリックな視点から、
未来のモビリティ社会を拓く

人間中心の視点から学際的な研究・実証を推進

SMART
人と賢く調和ドライバや周辺交通参加者との
調和を達成する知能の創出DEPENDABLE
人に安心・納得させる誰もが安心・納得して使える
システム設計のための方法論ACCOMPANYING
人に寄り添う利用者の心情を理解し多様な
選択肢から最適な選択を提供ACCESSIBLE
人に役立つ誰もが、いつでもどこへでも
ストレスなく移動できる仕組

組織・実施体制

研究所長
鈴木 達也 教授関連教員
130名以上国際連携アドバイザー
Prof. Masayoshi Tomizuka
(UCバークレー／名古屋大学 客員教授)副所長
高田 広章 教授

企画戦略室

室長 青木 宏文 特任教授

ディレクター
谷川 史郎 特任教授

プロジェクト戦略ボード

先進ビークル
研究部門部 門 長 鈴木 達也 教授
副部門長 村瀬 洋 教授

教員・研究員 41名

モビリティサービス
研究部門

部 門 長 河川 信夫 教授

教員・研究員 17名

社会的価値
研究部門部 門 長 森川 高行 教授
副部門長 高田 広章 教授

教員・研究員 21名

研究テーマ例

- 1 説明できる運転知能技術
- 2 リアルタイムに周辺交通参加者と合意形成する技術
- 3 個人個人に適合する運転支援・自動運転技術
- 4 モビリティの需給取引とそのプラットフォーム
- 5 過去を再現し、未来を予測する大規模交通シミュレータ
- 6 モビリティシステムの安全性を説明する手法
- 7 CASE化を見据えた地域交通システム
- 8 CASE時代に必要とされる道路利用料金システム
- 9 新しいモビリティシステムのリスクマネジメントと社会受容性
- 10 レベル4自動運転移動サービスを実装するための法制度